

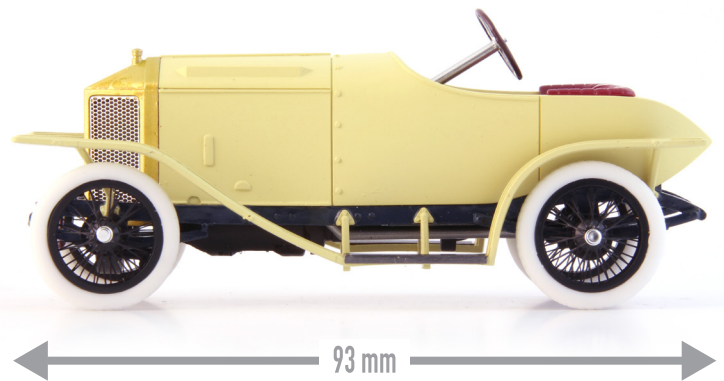
Scale 1:43

#01012

release

08/2020

limited edition 333 pcs.



勝利への“棺桶”に乗って

Laurin & Klement社の四輪時代は、1905年4月に発売されたVoiturette Aモデルから始まりました。この開発の過程で、スポーツイベントへの関心も高まりました。

1907年同社エンジニアはU字形鋼をリベットで繋ぎ合わせシャーシの輪郭を形作ったレーシングカーを開発しました。2.4リッター、4ストロークエンジンでほぼ90 km/hまで加速することができました。レーシングカーは略称をFCとされました。オートレースへの参加熱が高まっていたこの時代に、若いドイツのデザインエンジニアであるオットー・ヒエロニムスを採用したことは、同社に短期間で大きな幸運をもたらしました。サンクトペテルブルクからモスクワまでの長距離レースでの勝利と1908年のイギリスのブルックランズでの彼の記録により、彼は並外れた運転能力を発揮し、ローリン&クレメントがモータースポーツでの評判を確固たるものにするのを助けました。しかし、それらの成功にもかかわらず、オットー・ヒエロニムスは改善するべき点を見つけました。彼の断固とした指示の

下で、FCは改善されました。これは主に、より強力なエンジンの取り付けでした。2.4リッターエンジンの代わりに、実に5,672 ccの4ストローク水冷エンジンが製造され、当時としては100 hpの驚異的な出力を生み出しました。いま分かっている限りで、後車軸の駆動は旧タイプのシャーシと同じカルダンシャフトによって維持されました。FCの後継車はFCRという名前を獲得し、1909年からスタートしました。その並外れたパフォーマンスにより、車はほぼ時速130 kmの最高速度に達しました。これは当時の最高速度と見なされていました。

成功した設計エンジニアのオットー・ヒエロニムスに加えて、FCRを成功に導いた2人目のドライバー、アレクサンドル・"サシヤ"・コロラットクラコフスカ伯爵がいました。ヒエロニムスと"伯爵"とポール・ドラスコビッチは、ローリン&クレメント社の工場チームを結成し成功を収めました。一例として、オーストリアアルペンラリーでそれぞれ一つづつの金メダルを獲得しました。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de